

研究開発評価を推進するための取組み ～平成18年度実績及び今後の取組み～

平成19年3月16日
文部科学省 科学技術・学術政策局
評価推進室

評価活動の質の向上 ～研究開発評価活動に関する現地調査～

趣旨・目的

文部科学省における研究及び開発の評価については、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」に沿って進められているところある。当評価推進室では、この指針のフォローアップの一環としてこれまで、各研究機関及び大学等の研究開発評価活動について、調査し情報の共有化を図ってきた中で、評価それ自体を目的とした「評価のための評価」に陥ることなく、「活かされる評価」を行う仕組みの構築がより重要と考えた。そこで、平成18年度は、評価とマネジメントとの関係、特に「研究開発マネジメントに活かす評価」という観点から、研究開発マネジメント（PDCAサイクル）の中で評価がどのように活用されているか、また、評価を研究開発マネジメントに活用するにあたり、どのような課題に直面しているか等に注目して、現地調査を行った。その結果は、文部科学省のホームページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hyouka/main11_a4.htm）等において、広く公表している。

現地調査項目

1. **研究開発評価活動に関する意見交換**
各機関の組織・研究開発活動等について説明及び意見交換
2. **事前に送付した「研究開発評価活動に関するアンケート」での意見交換**
 - 1) **研究開発の企画立案（PLAN）への評価の活用について**
 - (1) 評価の推進体制について
 - (2) 代表的な又は特徴的な研究開発等事例に対する評価について
 - (3) 評価結果の取り扱いについて
 - 2) **評価により研究開発の進展に大きな影響があった事例について**
 - (1) 評価によって研究開発が効果的に実施できた事例や改善・効率化した事例について
 - (2) 評価を十分に活かせなかった事例について
 - (3) その他
 - 3) **評価システム改革のための方策について**
 - (1) 評価システム改革のため貴機関で実施している方策について
 - (2) 評価システム改革のため必要と思われる方策について
 - 4) **その他、研究開発評価について、特に気になる点や問題と考えていること**

現地調査機関一覧

独立行政法人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物質・材料研究機構 2. 放射線医学総合研究所 3. 防災科学技術研究所 4. 宇宙航空研究開発機構 5. 日本学術振興会 6. 科学技術振興機構 7. 理化学研究所 8. 海洋研究開発機構 9. 日本原子力研究開発機構
国立大学法人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉大学 真菌医学研究センター 2. 名古屋大学 エコトピア科学研究所 3. 徳島大学 分子酵素学研究所 4. 長崎大学 熱帯医学研究所
大学共同利用 機関法人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学研究機構 国立天文台 2. 自然科学研究機構 核融合科学研究所 3. 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 4. 自然科学研究機構 生理学研究所 5. 自然科学研究機構 分子科学研究所 6. 高エネルギー加速器研究機構

評価人材の養成・確保 ～研究開発評価研修等の実施～

研究開発評価研修

＜年数回定期的に実施＞

- ・研究開発や政策の評価等の概念、枠組み、手法や課題等を教示する。
- ・海外から講師を招聘して評価を巡るフロンティアな課題の議論を深める。

研究開発評価シンポジウム、ワークショップ

- ・ケーススタディーや様々な情報提供を通じて、意見交換を行い、スキルアップを行うとともに、評価関係人材間の交流を推進する。

評価人材
の
高度化推進

国際動向を
踏まえた評価

評価人材間の
連携強化

OJT、事例等
による
評価能力向上

評価システム改革に向けて

＜評価人材ネットワークの構築＞

- ・評価データの共有等による国際水準の信頼できる評価へ
- ・政策目標を踏まえた評価の推進

研究開発評価研修

○ 政策評価相互研修会

回数	日時	研修内容	参加者数
第1回	平成18年10月10日(火) 18:15 ~ 21:15	(1)研究開発評価人材－海外主要国における養成・集積状況と事例的取り組み－ 平澤 冷(東京大学名誉教授) (2)海外主要国における評価人材養成のための基盤整備 田原敬一郎(財団法人政策科学研究所研究員) (3)我が国の研究開発評価人材養成・集積上の課題と対応策 平澤 冷(東京大学名誉教授) (4)国際会議の報告 [① 2006年G8研究開発評価ワーキンググループ会合、② Blue Sky II 2006]	106名
第2回	平成18年10月26日(木) 17:00 ~ 20:45	(1)講義「Frontiers of Evaluation: Context and 2 Cases for Application: Options (US), Networks (EU)」 Nicholas S. Vonortas (ジョージワシントン大学経済学部教授 同大学国際科学技術政策センターディレクター) (2)全体討論	73名
第3回	平成18年11月29日(水) 18:15 ~ 21:15	(1)科学技術振興機構における追跡調査・評価の取り組み－イノベーション創出に向けた目的基礎研究から応用・ 実用化研究への橋渡しに関するケーススタディ 吉田 秀紀 (JSPS 基礎研究制度評価タスクフォース副調査役) (2)国際会議の報告 [① アメリカ評価学会、② OECD会合]	65名
第4回	平成18年12月22日(金) 18:15 ~ 21:15	(1)事例報告「追跡調査・評価の取り組み」 「光関係(レーザー加工・計測)研究開発プロジェクトの追跡評価」 小池 勲 (三菱総合研究所主任研究員) 「マイクロマシン研究開発プロジェクトの追跡評価」 田村 信一 (日鉄技術情報センター調査研究事業部長) (2)経済産業省における追跡調査・評価を巡る論点 菊池 純一 (青山学院大学法学部教授) (3)全体討論	65名
第5回	平成19年1月25日(木) 18:15 ~ 21:15	(1)レビューパネルの質的向上を巡る論点 平澤 冷(東京大学名誉教授) (2)物質・材料研究機構におけるサイエンスベース研究評価の現状について 野田 哲二(物質・材料研究機構理事) (3)日本学術振興会事業におけるプログラムオフィサー制度の果たす役割等について～科研費を中心とした審査・評価 システムの構築～ 山本 一彦(日本学術振興会学術システム研究センター主任研究員) (4)全体討論	65名
第6回	平成19年2月26日(月) 13:30 ~ 15:30	(1)講義 ①“Research and Education in Science, technology and Innovation Management and Policy at the University of Manchester” ②“Lead markets as an instrument of innovation policy” ルーク・ジョルジュ(マンチェスター大学教授、PRESTディレクター) (2)全体討論	40名
第7回	平成19年3月14日(水) 18:30 ~ 20:30	(1)NSFにおける大統領府行政管理予算局(OMB)のPART評価への対応 Kaye G. Husbands (Science Advisor for Science of Science Policy, National Science Foundation (NSF), USA) (2)米国議会の予算プロセスにおける評価 Gerald J. Hane (Managing Director, Q-Paradigm, USA) (3)全体討論	38名

【主催】 文部科学省、政策科学研究所、研究・技術計画学会

研究開発評価シンポジウム、研究開発評価ワークショップ

研究開発評価シンポジウム

【日時】

平成19年2月27日（火）14:00～18:30

【場所】

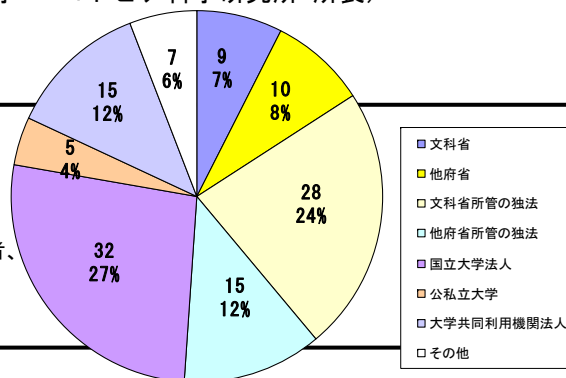
丸の内 MY PLAZA ホール
（東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル）

【プログラム】

- ①開会挨拶
- ②シンポジウム開催の主旨説明
- ③実例紹介
 - ・プロジェクト研究開発評価とマネジメント
野田 哲二（物質・材料研究機構 理事）
 - ・放射線医学総合研究所における研究開発評価とマネジメント
相澤 志郎（放射線医学総合研究所 特別上席研究員）
 - ・自然科学研究機構 分子科学研究所評価体制
西 信之（分子科学研究所 研究総主幹）
 - ・研究所ミッション推進のための評価とマネジメント
松井 恒雄（名古屋大学 エコトピア科学研究所 所長）
- ④パネルディスカッション
- ⑤閉会挨拶

参加者数 121名

（注）参加者数には、講師、実例紹介者、運営担当者（事務局）を含む。



研究開発評価ワークショップ

【日時】

平成18年11月27日（月）13:30～16:50

【場所】

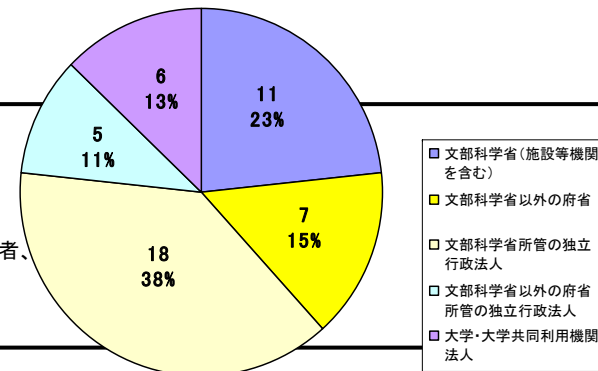
コンファレンススクエアM+ サクセス
（東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル1F）

【プログラム】

- ①開催挨拶
- ②講義「研究開発評価とマネジメント」
鈴木 潤（芝浦工業大学教授）
- ③実例紹介
 - ・宇宙航空研究開発機構における研究開発評価とマネジメント
長井 健一郎（JAXA 評価・監査室 主任）
 - ・理化学研究所における研究開発評価とマネジメント
前川 治彦（理化学研究所 経営企画部 次長）
- ④グループ討議・グループ討議結果発表
- ⑤全体討議
- ⑥閉会挨拶

参加者数 47名

（注）参加者数には、講師、実例紹介者、運営担当者（事務局）を含む。



海外の評価担当者とのネットワーク

－ G8研究開発評価ワーキンググループ会合 －

1. 会合出席者

年一回、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、日本の8カ国の行政機関や資金配分機関等の担当者で会合。

2. 研究開発評価等に関する議題

- － 評価に関する現状や課題の意見交換
- － 評価の今後の動向について紹介

3. 国内での情報共有

- － 総合科学技術会議評価専門調査会

2005年11月14～16日 イギリスで開催 ⇒ 第51回(2006年 1月26日)に報告

2006年 9月27～29日 カナダで開催 ⇒ 第61回(2006年12月20日)に報告

- － 政策評価相互研修会で意見交換

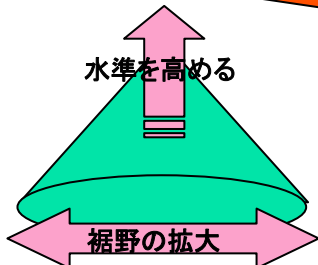
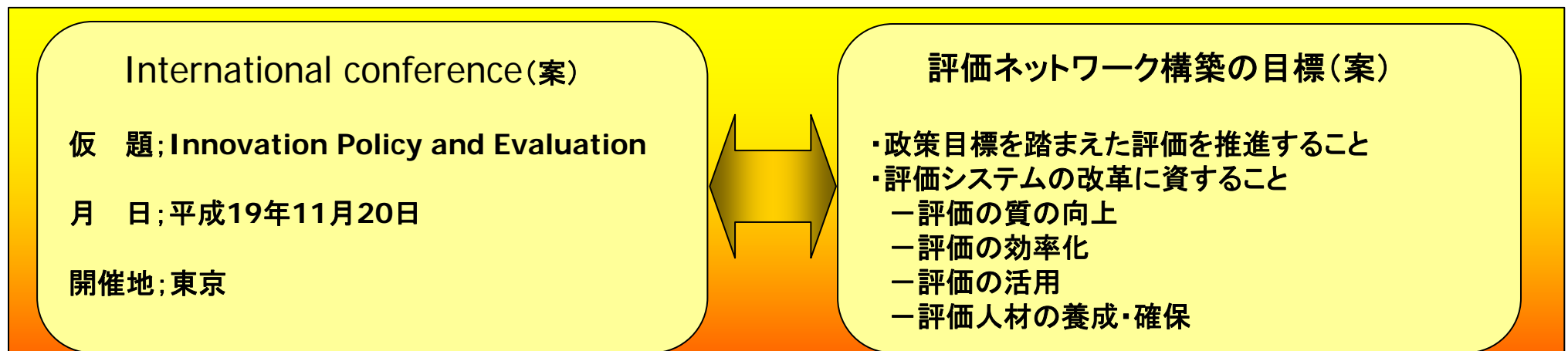
4. 平成19年度は日本で開催

(案)G8ワーキンググループ2007年11月21,22日。国際会議11月20日

※内閣府、文科省、経産省、資金配分機関等の担当者在りて企画・運営等を検討中。

評価システムの改革や評価人材の養成・確保等に資するための一方策

評価の質の向上、より一層活かされる評価となるよう、評価の国際動向を踏まえつつ、国際会議の開催に併せて、評価関係者間のネットワーク組織の構築を計画する。



国際水準の信頼できる評価へ